

このたびの未曾有の地震災害によりまして、被災された皆様には衷心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。度重なる余震の中で不自由な生活を余儀なくされておられます方々のお気持ちを想像するだけでも、心が震える思いをしております。一日も早く平穏な生活に戻れますよう心より祈念しております。

今現在、被災地域の学会員、関係者の安否、被害についての詳しい情報は受け取っておりませんが、東海大学農学部では、橋の崩落等により、教員も大学へアクセスできない状況のようで、今後の教育、研究活動への深刻な支障が危惧されております。また、周辺地域の畜産農家で畜舎の倒壊や、牛乳の出荷が出来ないなどのニュースもあり、現地の畜産業にどれだけ深刻なダメージがあるのか、心配しているところでございます。

日本畜産学会として、震災被災者を支援するために、私たちがなすべきこと、出来ることについて、多くの学会員一人一人が可能な支援について考えるとともに、学会員相互の情報交換等を通して、状況の把握に努め、現在具体的な対応策について協議しているところでございます。会員の皆様におかれましてはすでに、個別に支援活動を行われている方もおられますが、被災地域の学会員、畜産関係者をサポートするために、東日本大震災などのご経験から、具体的な支援策につきまして、ご提案頂ければ幸いです。私たちの力を結集して可能な限り、長期にわたって支援していく活動、事業を進めて行きたいと考えております。

今後とも皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人日本畜産学会  
理事長 小泉 聖一